



国際ロータリー第2790地区

# 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	榊原 行夫	幹事	小林 透	雑誌会報委員長	瀬谷 研一
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階			TEL	043-245-3204

2011年4月第1週号

## 第2307回



平成23年4月1日(金) 点鐘12:30 (晴れ)

- ◆国歌斉唱 『君が代』
- ◆ロータリーソング 『奉仕の理想』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

### ◆お客様紹介

- ◆本日のゲストスピーカー／千葉県警察本部交通部  
高速道路交通警察隊長  
千葉県警視 飯島 浩様

### ■ 会長挨拶及び報告 榊原 行夫会長

先週(3/25)の例会は、東北地方太平洋沖地震のために取りやめとさせて頂きましたが、理事・役員さんにお集まり頂き、臨時理事・役員会を行いました。今回の災害義捐金について、会員より、一人当たり10,000円を集美、余剰金積立金より、610,000円を捻出、合計1,000,000円をお見舞い金として地区へ送ることになりましたので、ご理解とご協力の程、宜しく願い申し上げます。尚、5月末に予定している職場訪問及び親睦旅行については、考慮しながら実行することになりました。

### ■ 記念品伝達

マルチプル ポール・ハリスフェロー寄付 吉田 裕成会員

### ■ 委員会報告

#### 親睦委員会より (北原俊彦委員長)

5/29(日)～5/30(月)、一泊旅行を予定通り行うことと致しましたので、ご参加の程宜しくお願い致します。

#### ■ 中沢 治久会員・山口 浩会員より

#### 中沢 治久会員

今回の地震では、原子力の事故及び計画停電により、皆様に大変なご迷惑とご心配をお掛けし申し訳ございません。東京電力だけで1/3位壊れてしまいましたが、

幸いにも私がいる千葉火力発電所は大した被害もなく、現在、フル運転で電気を作り続けております。春となり暖かくなつてしばらくの間は停電しなくて済むと思いますが、夏になるとまた電気が足りなくなる恐れがありますので、エアコンの調整等の節電のご協力をお願いと、復旧に向けて仲間が頑張っておりますので、温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

#### 山口 浩会員(手紙にて)

3月11日に発生しました福島第一原子力発電所における事故及び放射性物質の漏洩により、発電所の周辺地域の皆様はじめ県民の皆様、さらに千葉県など社会の皆様に変なご心配とご迷惑をお掛けし、心より深くお詫び申し上げます。現在、政府、関係省庁、自治体のご支援とご協力を仰ぎながら、綿密に連携を図りつつ事態の悪化防止に向けて全力を上げて懸命に取り組んでおります。また、当社原子力発電所及び火力発電所等が大きな被害を受けたことにより、安定した電気の供給を行うことが困難になったため、計画的に停電を実施させていただいており、会員の皆様には大変なご不便とご迷惑をお掛けしており、重ねて深くお詫び申し上げます。一日も早く安定的に電気を送り届けることが出来るよう復旧作業に全力を尽くしておりますので、ご不便をお掛けしますが、会員皆様のより一層の節電と計画的な停電へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

多くの激励をいただき、厚く御礼申し上げます。

### ■ 幹事報告 小林 透幹事

次週(8日)は、移動夜例会となります。

- ・点鐘⇒ 午後6時
- ・会場⇒ 殿山ガーデン
- ・バス⇒ 千葉駅NTT前 午後5時発

### ■ 4月度 会員誕生祝い・結婚記念日祝い

#### 【誕生日祝い】

3日 今関 真人会員 11日 山口 浩会員

#### 【結婚記念日祝い】

1日 小野 成子会員 26日 大野 良亮会員

### ■ ニコニコボックス報告

#### ☆植松 省自会員

飯島様、本日はお忙しい中を有難うございます。卓話、宜しくお願い申し上げます。

本日のニコニコボックス	2,000 円	累計	541,000 円
金の箱	5,211 円	累計	29,039 円

## 出席報告 (会員数39名)

出席者数32	欠席者数 7	ビジター 1	修正出席率 次回にて
--------	--------	--------	------------

### 千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい](#)

千葉RC	月	5/2・16	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	5/10	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	5/17・24	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	4/20	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	—	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	4/14・5/12	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	—	京成ホテルミラマーレ

### ★本日の卓話★

演 題…『高速道路の現況について』  
卓話者… 千葉県警察本部 交通部  
高速道路交通警察隊長  
千葉県警視 飯島 浩様

皆さん、こんにちは。高速道路交通警察隊長の飯島と申します。本日は貴重なお時間、こういうお席にお招きいただきまして、誠に有難うございます。



まず、私が勤務しております高速道路交通警察隊とはどんなところなのかというご説明からお話します。管内は、京葉道路や東関東自動車道、首都高速道路湾岸線、東京湾横断道路(アクアライン)などの高速道路と自動車専用道路の計12路線、総延長263kmからなっており、下の道路(一般道路)は一切管轄をいたしません。体制は私以下115名で、一般的な事務処理を行う隊本部、その他に方面別に本隊、船橋分中隊、千葉東分中隊、木更津分中隊、成田分中隊の5つに分かれ3交代制24時間勤務をしています。管轄の路線が長いこともあり、事案発生時になるべく早く現場に行けるようにとこのような分中隊制を採っています。

高速隊の業務につきましては、高速道路における交通の指導と取り締まり、そして交通事故事件、即ち一般にいわれている物損・人身事故の捜査、NEXCO(旧、道路公団)との合同による交通事故防止対策、それから交通規制等の交通管理、即ち荒・悪天候時の速度規制や今回の震災時のように高速道路を通行止めにするなどがこの業務ですが、それらが主となります。また、その他

にも高速道路上で発生した交通以外の事件も、高速道路交通警察隊が現場へいち早く駆けつけ第一的な処理を行うことになっています。

そういった中で、県内の高速道路はだんだん距離が延びております。木更津から東金までの圏央道が総距離42.9kmで平成24年度末頃に開通を予定し、首都圏連絡道路が東京都内から京葉道路の市川、そして首都高速湾岸線に向けて平成27年頃に伸びる予定で、NEXCOさんは道路整備を計画しているそうです。そうしますと、私たちの受け持ち区間がこれからますます増えてくるという状況になります。



今回の地震につきましても、震度5以上でありましたので本隊では「全線通行止め」をかけました。通行止めをかけますと、その路線に異常がないかパトカーを走らせ点検を行うのですが、今回も破損があり首都高速湾岸線では液状化現象で下から水が浮き出ましたし、京葉道路ではクラック(ヒビ割れ)が入りました。その他にも東関東自動車道では佐原香取から潮来にかけてクラックが入っていました。それらの事故が発生すると原状復旧をして解放となるのですが、今回の首都高速湾岸線では工事が遅れ暫く通行止めが続いてしまいました。それ以外は千葉県内では順次復旧、解放していきました。これもNEXCOさんの協力を得て早期に原状回復出来たということです。

実際に通行止めをかけて、非常に(一般道路が)混雑してしまいました。京葉道路については、都内から千葉県に入って来れない、千葉県の車も東京に入って行けないという状況が起きました。そこで、東京のNEXCOさんに交渉して江戸川にかかる京葉道路の一区間だけ通行止めを解除してもらい一般道路の渋滞が若干解消されたのですが、そのあとの幕張インターまでは通行止めが続いていたので非常に一般道路は混雑してしまいました。そのような中でも皆様のご協力で無事に何とか乗り切ることが出来ましたが、東京湾横断道路では通行止めにより橋の上で立ち往生した車が約100台、海ほたるに取り残された車両も約100台あり、地震後約3時間駐車場から動けない状態がありました。その後津波の危険が収まったので全車両Uターンで木更津方向へ向かっていただきました。アクアラインは相当強い地震にも耐えられるようになっているそうですが、地震中は道路上の揺れがひどく、取り残された皆さんの恐怖は大きかったようで、ひっきりなしに110番が何本も入ってまいりました。

次に、交通事故についてですが昨年1年間で県下の交通事故で亡くなった方は184人でした。前年比で13人減少、11年連続で交通事故死亡者を減少させることが出来ましたが、それでも依然として全国ではワースト上位に入ってしまいます。事故後24時間以内に亡くなった方を交通事故死亡者としてカウントするので、それ以後

亡くなった方もあり実際にはこの数字よりも多くなってしまっています。私どもが勤務する高速隊管内では、昨年は399件の人身事故が発生しました。概ね1日当たり1件発生した勘定です。また、怪我はないけれど物を壊した、物にぶつかったという事故は3,478件、概ね1日で10件発生している状況です。人身事故は25件減少したのですが、物件事故は507件と大幅に増加してしまいました。高速道路ですから、スピードが出ているのでちょっとしたハンドル操作の誤りや注意力を欠いて前の車に追突すると、非常に被害が大きくなります。私も何度も現場を見ていますが、車は滅茶苦茶の鉄クズ同然になっても運よく車中の方が怪我もなく無事でいたというケースはシートベルトを着用していた方です。シートベルトをしていないために衝突した衝撃で車が回転して車外に投げ出されてしまい、命を落としてしまうという事故を結構見してきました。

当管内では昨年は9名の方が残念ながら死亡しております。これは前年より3名の増加です。高速道路上の交通事故の内訳ですが、朝夕の出退勤時の渋滞時における追突事故が約半数を占めております。どういう訳かゆっくりとノロノロしているときにぶつかってしまう、前の車の動静注視を怠って追突してしまうケースが多いのです。この場合はあまり速度が出ていませんので怪我は比較的軽くて済みます。逆に、深夜早朝はハイスピードで走行しているため、重大事故に直結することが非常に多くなっています。週末や行楽シーズンになると渋滞での追突事故が多くなる傾向があります。時間別で見ますと、夕方4時から6時のうす暗くなる時間帯が一番多く、曜日別では土・日曜が全体の4割を占めます。また、死亡事故では先ほどの9名中6名が深夜あるいは早朝の時間帯に発生しています。違反では、飲酒がらみが2件とまだまだお酒を飲んで運転している方がいるということです。四輪車乗車中の事故では、シートベルトをしていなかったものが3件、高速度によるものが3件、その他については前方不注視が主な原因です。路線別で見ると、交通量の多い京葉道路で189件、全体の47.3%がここで発生しています。その他、東関道が47件、首都高速湾岸線が45件、千葉東金道路が39件となっております。

こういったような交通事故を抑止するためには、当然ながらドライバーの方々の意識付けが必要なのですが、それ以外に私たちに出来ることは何かというと「目立つ、見せる、取り締まる」といったやり方、即ち警察車両が走っていると見せることでルールを守っていただく意識付けをすることだと思います。人の命に関わることで、それによって人の安全を守ることが出来たらと思っています。当隊は主に白黒のパトカーと覆面パトカーで各地点に配置して時間帯を選び、取り締まりを行っていますが、速度違反の取り締まりは固定オービスも設置しています。これは「オービス設置路線」と表示をしています。高速道路なら100km、自動車専用道路なら60~80kmの制限速度を守



り、経済運転をしていただきたいと思います。その他にも「道路情報板」といわれるものに渋滞や落下物、あるいは事故の情報をお知らせし、安全運転を呼び掛けています。

高速道路でのシートベルトの着用率ですが、昨年の調査では運転者は98.3%と良くなってきましたが全国平均の99%より低くなっています。後部座席での着用率は43.7%でしたが、これも全国平均の62.5%より下回っています。この点は、まだまだ力を入れてやっていかなくてはならないと思います。取り締まりの強化をしております。先ほども申し上げましたが、思わぬ事故により車外に投げ出されて死亡につながるケースがありますので、必ずシートベルトは着用していただきたいと思います。



これから行楽のシーズンを迎え車でお出掛けの機会も多く、渋滞に巻き込まれてイライラすることもあるかと思いますが、そんな時には是非休憩を取ってリフレッシュしてまた安全運転を心掛けていただければと思います。

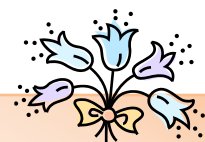
皆さま方の中で、高速道路に関するご意見やご要望がございましたら、是非私ども高速道路交通警察隊へお聞かせいただければ幸いです。本日は貴重なお時間を拝借し、有難うございました。

(文責 瀬谷 研一会員)

## — ロータリーの友4月号 —

### 駆け足で見る『ロータリーの友』 その4より

創刊当初、発行部数3,300部だった『友』は、本号で通巻700号を数え、9万8,400部が発行されています。発行部数が最も多かったのは、1997年の142,000部。会員数が最も多い時でした。現在、2003年からホームページを開設(2007年)、今の『ロータリージャパン』に改称し、電子媒体の特製を生かして、最新の情報をいち早くお届けしています(www.rotary.or.jp)。雑誌『ロータリーの友』と併せてご活用下さい。



#### 第2308回例会

##### 移動夜例会

日時⇒ 平成23年4月8日(金) 点鐘18:00

会場⇒ 殿山ガーデン

#### 第2309回例会

日時⇒ 平成23年4月15日(金) 点鐘12:30

演題⇒ 『東北関東大地震が日本経済に及ぼす影響』

卓話者⇒ 近藤法律事務所 所長 近藤 一夫様